

中九州短期大学コロナウイルス感染症のための行動指針

本指針は、熊本県のリスクレベルと学内の感染状況を踏まえた大学独自の警戒レベルを設定し、本学の行動制限を可視化するものです。

令和4年11月25日より適用

赤枠は現在の行動制限の状態を示しています。

大学独自警戒レベル	県リスクレベル	判断基準（目安）	基本的な感染予防対策	講義	実習	課外活動	行事・イベント	学生の入構	学外者の入構	図書館・食堂
レベル0	レベル0	平常時・危機がない状態	マスク着用、手指消毒、距離の確保、換気の徹底、検温、行動の記録等	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り
レベル1	レベル1	感染への注意が必要な状態		感染防止対策を講じた対面授業	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り
レベル2	レベル2	行事、イベント等の開催制限や飲食を伴う会合や移動等の自粛が求められている状態	マスク着用、手指消毒、距離の確保、換気の徹底、検温、行動の記録等。宿泊、飲食を伴う活動等は自粛	感染防止対策を講じた対面授業	感染防止対策を講じて実施	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、受付で検温して入構を許可	感染防止対策の上、通常通り
レベル3	レベル3	まん延防止等重点地域指定の有無にかかわらず緊急事態宣言対象地域ではないが、警戒が必要な状態。 学生・教職員に感染者の発生があっても単発に留まる状態	マスク着用、手指消毒、距離の確保、換気の徹底、検温、行動の記録等。宿泊、飲食を伴う活動等は自粛	感染防止対策を講じた対面授業とし、学長の決定により遠隔授業を併用できる場合がある	実習先の受け入れの意向により、実施または延期。学内実習へ変更も検討。2週間前に判断	感染防止対策の上、活動可。活動先の状況により禁止する場合がある	感染防止対策の上、実施可。参加者の制限を検討する。	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、受付で検温して入構を許可	感染防止対策の上、可能な限り通常通り
レベル4		まん延防止等重点地域の指定または緊急事態宣言が発令されており、警戒が必要な状態。 学生・教職員の感染者が多数ある状態	マスク着用、手指消毒、距離の確保、換気の徹底、検温、行動の記録等。宿泊、飲食を伴う活動等は自粛	感染防止対策を講じた対面授業とし、学長の決定により遠隔授業を併用できる場合がある。感染または濃厚接触による欠席者が多数となった場合は学科・コース・学年で閉鎖	実習先の受け入れの意向により、実施または延期。学内実習へ変更も検討。2週間前に判断	感染防止対策の上、活動可。活動先の状況により禁止する場合がある	感染防止対策の上、実施可。参加者を学内関係者と保護者のみとする	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、受付で検温して入構を許可	感染防止対策の上、可能な限り通常通り
レベル5	レベル4	まん延防止等重点地域の指定または緊急事態宣言が発令されており、急激に感染が拡大し、強い警戒が必要な状態。 学生・教職員の感染者が多数ある状態	マスク着用、手指消毒、距離の確保、換気の徹底、検温、行動の記録等。宿泊、飲食を伴う活動等は自粛	感染防止対策を講じた対面授業とし、学長の決定により遠隔授業を併用できる場合がある。感染または濃厚接触による欠席者が多数となった場合は学科・コース・学年で閉鎖。休校も検討	延期、または学内実習へ変更。2週間前に判断。	原則として禁止。2週間前に判断	感染防止対策の上、実施可。参加者を学内関係者と保護者のみとする。中止も検討	感染防止対策の上、通常通り	感染防止対策の上、受付で検温して入構を許可	図書館は感染防止対策の上、可能な限り通常通り。食堂は休業を検討

※行動指針の内容は、今後の感染拡大を受け、国・自治体の要請や大学の判断により変更することがあります。

※大学独自の警戒レベルは、熊本県のリスクレベルを参考に、大学の状況を加味して決定する。